

牧之原市赤十字奉仕団員の声



委員長（相良分団長）  
八木 公代 さん

赤十字奉仕団では、ハンカチを包帯の代わりにした傷の手当や新聞紙を使った防寒対策、携帯トイレでの活用法などを学ぶ救急法講習や、ポリ袋（包装食袋）を使った炊き出し訓練など、各種研修を実施しています。救急法講習や炊き出し訓練などは、災害時の救援活動のためだけでなく、自分自身はもちろん、家族を守るための知識でもあると思います。

災害時に強いまちづくり、地域住民一人一人の命を大切に守り、自分のため、家族のため、地域のために、自分にできることから赤十字ボランティア活動を始めてみませんか。



副委員長（榛原分団長）  
羽柴 文子 さん

私は、地元の団員さんに「奉仕団に入らないか」と誘われたことがきっかけで、地域への奉仕活動や勉強をしてみたいとの興味がわき、入団しました。

入団してからは、奉仕活動や減災セミナー、炊き出し訓練などの各種研修会に参加して基礎的なことを学んだり、団員同士で奉仕団のこと以外にも情報交換もできたりと楽しいです。

コロナ禍となり、活動が制限され減少していることは本当に残念ですが、コロナ禍でも竜巻、水害などの自然災害は起こります。地域の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。



団員（榛原分団）  
遠藤 香苗 さん

私は、地域の団員に誘われて、何もわからない状態で10年前に入団しました。

入団してからは、施設の草取り、老人福祉施設のシーツ交換などのボランティア活動に参加しました。入団しなかったら施設を訪問することもなかったので、入団していろいろなことがわかり、勉強になりました。また、地域の団員とも交流があり、楽しいです。元気なうちはボランティアに参加したいと思います。

牧之原市赤十字奉仕団では団員を募集しています

牧之原市赤十字奉仕団は、相良分団203人、榛原分団141人の計344人で活動していますが、近年、奉仕団員数は減少傾向にあります。

牧之原市赤十字奉仕団に入団して、地域のために活動してみませんか。興味のある人は、事務局に気軽にお問い合わせください。

▶事務局

牧之原市静波991番地1 総合健康福祉センターさざんか内  
社会福祉課 若杉 ☎0070



地域に根差した身近な奉仕を広げよう



赤十字奉仕団は、「奉仕」の精神のもと、赤十字の使命とする人道的な活動の実施を目的として結成された奉仕者組織です。地域と協力しての炊き出しや救急法の訓練、福祉施設での奉仕活動、災害時に安全な日常生活を送るための講習会、赤十字会費の募集などの活動を通じて、支え合い、助け合う温かなコミュニティづくりを目指したボランティア活動を進めています。

問い合わせ 社会福祉課 若杉弥生 ☎0070



[1年間の主な活動内容]

- 市内福祉施設奉仕活動
- 救急法短期講習
- 減災セミナー
- 榛原総合病院奉仕活動
- 市内福祉施設慰問
- 歳末助け合い募金活動



赤十字奉仕団の皆さんへ「ありがとう」

榛原総合病院 総務課 松浦寿将 さん  
毎年、院内駐車場の草刈り作業をしていただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスの影響が大きい中、例年通り草刈りをしてくださることに大変感謝しています。赤十字奉仕団の皆さまのご助力により、病院周辺環境が整い、私たちも医療に注力することができます。このようなご支援に、より良い診療技術・診療態度で応えられるよう努めていきたいと思っております。今後とも変わらぬお力添えをくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。